

県立新発田病院だより

第72号 2024年2月発行

新潟県立新発田病院

〒957-8588 新発田市本町 1-2-8
TEL.0254-22-3121 FAX.0254-26-3874
<http://www.sbthp.jp/>

【当院の基本理念】

1. 県北の急性期高度医療を担い、質の高い医療を提供します。
2. 患者さんに優しく安全で信頼される病院を目指します。
3. 保健福祉・医療機関と連携して地域の基幹病院としての役割を担います。
4. 教育・研修を積極的に行い、医療の未来に貢献できる人材を育てます。

目次

- P 1. 巻頭言：若い医療者を育てる
P 2. 病院トピックス：新発田病院での初期臨床研修を振り返って
P 3. 知っているようで知らないリハビリテーション、ミニクイズ、患者さんの権利
P 4. 患者さんの声、編集後記

若い医療者を育てる

新潟県立新発田病院 院長 田 中 典 生



新年早々に能登半島を襲った直下型地震は、今年こそは災害のない1年にと願ったばかりの国民に大きなショックを与えました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、それに付随する形で起こった航空機事故、海上保安庁の隊員におかれましては誠にもって残念な結果でありましたが、乗客全員の命を救った日本航空乗務員の皆さんの的確な行動には感服するばかりです。全世界からの“奇蹟”という賛辞の報道に対し、CA経験者の方は「奇蹟ではない。普段からの訓練の賜物である」と断言していたのが印象的です。おそらく誰一人こんな経験はしたことがないはずですから、それがあの大事な場面のできるということはずごいことですね。考え抜かれたマニュアルに沿った役割分担、命令系統が徹底されていたものと思われませんが、基本はCAの冷静な判断だったとのこと。いったいどんな訓練をしているのか一度見てみたいものです。

さて、病院においても大小かかわらず患者さんの急変時など急な対応を迫られる場面は多々あります。どんな時でも落ち着いて行動ができ

る人材を育てていくことはとても大事です。新発田病院は若い医療者の育成機関としての役割も担っています。医療人材が不足している中、将来の地域医療にとっても大事な役割であると認識しています。医学生、看護学生、研修医、新人看護師、新人技師など多くの若手が研鑽を積んでいます。若い人に診てもらうことに不安を感じる方もいらっしゃると思いますが、バックでベテランの先輩たちがしっかりと支えておりますのでご安心ください。生命や健康を預かるという使命感が強いためか、彼らはほんの数か月で立派に成長し、実戦力として働きだします。若い人たちが生き生きと働いている姿を見ることは指導者としてもうれしく、病院全体に活気が感じられます。この地域の医療はこの先もきっと彼らが支えてくれるのだろうと思っています。

今後とも当院における若手人材の育成にご理解とご協力をお願いいたします。



新発田病院での 初期臨床研修を振り返って

初期臨床研修医 小林 祐太郎

2年目の研修医の小林祐太郎です。出身は新潟市で、大学は秋田大学を卒業しました。新発田病院は、新潟市から秋田市に向かう際に、特急いなほから眺めていた病院でした。ただ眺めていただけでしたが、私にとってはなんとなく思い入れのある病院であったため、研修先を探し始めた際に一番最初に見学に来ました。各診療科の先生方や、スタッフの方々がとても暖かく迎え入れてくださり、研修医の先生方のたくましい姿を拝見し、この病院で研修したいと強く思いました。

実際に研修が始まると、わからないことだらけ、できないことだらけで、先生方、研修医の先輩方の偉大さを痛感する日々でした。各診療科の研修では、5週間ずつローテーションし、環境がガラッと変わります。非常に目まぐるしい日々ですが、その中で、さまざまなことを教わり、いろいろな経験を重ねることができました。その経験が救急外来での日当直で活着していると思います。受診された方々に感謝してもらえることも増えてきて、非常にやりがいを感じています。

救急外来は、県内屈指の救急車受け入れ台数を誇り、直接来院される患者さんも年間1万人以上受診されます。患者さんからの電話相談も含めると、もっと膨大な数になると思います。県北地域の方々から信頼されている病院なのだと実感します。断らない救急を掲げ日々診療にあたって来られた先生方、ス

タッフの方々の努力の甲斐があってこそのことだと思います。そんな病院で研修できたことは今後の医師人生の中で大きな財産になると感じています。

さて、研修生活に心残りがあるとすると、皆様との交流の場がコロナ禍であり持ちなかつたことです。医局忘年会では、県北地域で長く診療にあたられている開業医の先生方とお会いすることができました。病院忘年会では、お世話になっている方々とお酒を飲むことができましたし、明るく愉快的な同期たちと練り上げた渾身の余興を披露することができました。このような楽しい会を1年分しか経験できなかったことが非常に心残りです。

振り返るとあっという間で充実した2年間でした。4月からは各々専門に分かれていき、これまで以上に学ぶことが増えていくことと思います。2年間育ててくださった皆様に少しでも追いつけるよう、今後とも研鑽を積んでいきたいと思っています。最後に、この場を借りて皆様に厚く感謝を申し上げたいと思います。2年間、大変お世話になりました。



知っているようで知らないリハビリテーション



リハビリテーション技師長 風間美子

「リハビリテーション」という言葉を聞いたことがありますか？「リハビリ」というように略して言われることが多いです。最近では「メジャーリーガーの大谷翔平選手が肘のけがのために手術をして、その後のリハビリを行っている。」などとニュースで取り上げられることが多いでしょうか。

当院で行うリハビリテーションにも、それぞれ国家資格の違う職員が行っている3つの療法があります。それは「理学療法」「作業療法」「言語聴覚療法」の3つです。他の職場では検査は臨床検査技師、放射線撮影は診療放射線技師というように一つの国家資格の方が行っているものがほとんどですが、リハビリだけが少し特殊です。それぞれがその資格の特色を活かして患者の治療に当たっています。

最近では中学生が職場体験に来られることもあり、リハビリには3つの職種があることを話すと知らなかったと言われることも多いです。テレビドラマの影響もあるのか、けがをした方が痛みをこらえて歩く練習を頑張っている姿が印象にあるようです。理学療法士は起き上がり、立ち上がり、歩行などの起居移動動作を、作業療法士は日常生活動作などの作業活動を、言語聴覚療法士は話す、

聞く、食べるなどコミュニケーションや摂食、嚥下の問題に対応する専門職です。身体機能の病気やけがだけでなく心臓、呼吸器、消化器などの内部疾患にもリハビリは行われるようになってきています。また、精神の疾患に対しても作業療法士が関わって治療を行っています。

リハビリテーション (rehabilitation) という言葉はラテン語のre (再び) habilis (適した) から成り立っています。病気やけがで今まで行えていた日常生活や社会生活が困難になった方に対して、その人らしい生活が送れるように必要な治療を行い、家庭復帰や職場復帰のお手伝いをします。ただ、当院は急性期の患者さんが対象となるため、家庭や職場復帰ができるようになるまで入院治療が出来ません。そのため近隣の病院と連携し、回復期病棟などでしっかり時間を掛けてリハビリを行っていただくようになっています。地域のリハビリ専門の病院とは十分に連携が取れるようになっておりますので、どうぞご安心ください。リハビリ転院については主治医、患者サポートセンターにお問い合わせください。

ミニクイズ

毎年3月の第2木曜日は腎臓病の予防や早期発見を促す「世界腎臓デー」です。腎臓病を予防するために間違っている対応はどれでしょうか？

- ①減塩を心がける
- ②無理のない範囲で運動する
- ③おしっこは我慢して溜めてまとめて出す



回答は4ページにあります。

患者さんの権利

- 患者さん並びにご家族は、患者さんの病状、医療の内容につき十分な説明を受けることができます。その上で患者さんは、自らの希望する最適な治療を選択することができます。
- 患者さんは、プライバシーを守られ、個人として尊重される権利があります。国籍、人種、信条、社会的身分、経済的状態などによる差別を受けることはありません。
- 患者さんは、安全で快適な療養環境の提供を受けることができます。また患者さん並びにご家族は、自らの希望・意見を述べることができ、それを尊重される権利があります。



投書箱から

《患者さんの声1》

いつもお世話になり、ありがとうございます。
診察室前に次の患者さんの番号が表示される画面ですが、青地に黒の数字はすごく見にくいです。皆さん近くまで行って確かめています。
わかりやすい見やすい色の組み合わせに設定できませんか。
ぜひ検討いただきたいです。よろしくおねがいたします。

《回答1》

ご不便をおかけして申し訳ありません。
呼び込み用の番号表示画面については、それだけをあらたに入れ替えると費用が高額となるため、次の医療情報システムの更新時に合わせてご意見を活かせるよう検討してまいります。
ご意見をいただきありがとうございました。

《患者さんの声2》

〇〇先生へ
9月末まで診察して頂きありがとうございました。
10月から別病棟に変わり会えませんが、これからも患者さんの良き優しい先生でいて下さい。
いっばい経験して凄腕の先生になってください。

《回答2》

感謝のお言葉をいただき、ありがとうございます。
当院は、医師の教育機関としての役割も担っております。
今後とも、優れた医術を有し、患者さんから信頼される医師の育成に努めてまいります。

《患者さんの声3》

マンモグラフィの検査を受けました。心配でした。ところが、今まで何か所で受けたことがあります。間違いでした。こちらを希望して正解でした。とても分かりやすく声かけいただき、触られる、押されるのは大変ですが、ほんの一瞬に感じました。しっかり伸ばし押ししていただき、きちんと写っているだろうと信頼し何の不安もない検査でした。しっかりなのにラク。引っ張ったり押したりで苦情も多いかもかもしれませんが、とても良いです。頑張ってください。

《回答3》

このたびは、お褒めいただきありがとうございます。何か所で検査を受けられた中での嬉しいお言葉、大変励みになります。患者さまのご協力があってこそ、はじめて広い範囲がしっかりよく見える画像を得られる検査のため、ご面倒をおかけした中そう評価していただき大変嬉しいです。
これからも、スタッフ一同患者さまに有益な検査となるよう精進してまいります。

答え ③ おしっこは我慢して溜めてまとめて出す

ミニクイズ ～回答と説明～

おしっこを必要以上に我慢すると腎臓に負担をかけることになってしまいます。適度に水分をとって、我慢せずにトイレに行くことで腎臓の負担を軽くすることができます。「塩分控えめの食事」や「適度な運動」は腎臓病のみならず様々な病気の予防に効果的です。



編集後記

新発田病院だよりをお読み頂きありがとうございます。
新年早々に能登半島地震があり、新発田病院からもDMAT（災害派遣医療チーム）と災害支援ナース等が被災地へ派遣されました。自然災害や大規模事故はいつ、どこで起こるか分かりません。常日頃の避難訓練や避難場所の確認、非常持ち出し袋の準備が大事だと改めて実感しました。

《編集委員》

中川 範人	三井田 博	浅野 堅策
上杉 史	加茂 隆太	神田 真志
遠山 幸宏	長谷川京子	大橋 典子
高野 正司	佐藤 拓也	草間 涼